

平成30年度 指定管理業務 評価票

服部緑地	【指定管理者】 部緑地指定管理グループ	服	【指定期間】平成30年4月1日 ~ 平成35年3月31日	【所管課】 池田土木事務所 都市みどり課
------	------------------------	---	------------------------------	-------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
I 提案の履行状況に関する項目						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○服部緑地周辺の企業や団体の協力を得て「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」を年3回開催した。 ○年4回発行の広報誌「服部緑地パークライフ」では地域情報をはじめ、約100箇所に各回10,000部配布した。 ○子供達への食育体験として「集まれ！わんぱくファーマー」を実施し植付から収穫までの農事体験と収穫した野菜を食べるプログラムを、NPO法人梅田みつばちプロジェクトと連携し、3回実施した。 ○都市緑化植物園では、イベントや講習会を充実するとともに小学校などへ出張講習に outward 緑化に対する啓発に努めた。 また、子育て世代のお母さんたちに参加していただきやすいプログラムの充実を図った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」では、情報や課題の共有、催事の実施に関する積極的な意見交換により、地域のネットワークの活用と組織力を生かし、完成度の高い取り組みを実施した。 ○「服部緑地パークライフ」は、わかりやすいと好評をいただいた。 ○「集まれ！わんぱくファーマー」では、30名の募集に対し200名以上の応募があるほどの人気があり、参加した子供たちには夏野菜やミツバチを題材に食の大切さや自然の尊さを知ってもらう貴重な体験を提供するとともに、来園者との交流に貢献した。 ○出張講習によりまちのみどりづくりの促進に寄与した。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」を年3回開催して地域のネットワークを活用した。</p> <p>○広報誌「服部緑地パークライフ」を年4回発行し、約100箇所に各回10,000部配布して良い評価を受けた。</p> <p>○子供達への食育体験プログラム「集まれ！わんぱくファーマー」を実施し、子供達に貴重な体験を提供した。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>広報誌の発行、子供達への食育体験プログラムの提供など、公園利用者のニーズに応えた管理運営を適切に行っていることは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大阪府都市公園条例」や「府営公園管理要領」などに基づき、公平な使用許可・行為許可・利用指導を行った。 ○スポーツ施設利用者に対し、オーパス利用の不正防止のため、現地での本人確認調査を実施するなど、「大阪府オーパス・スポーツ施設情報システム運営要綱」や「オーパス・スポーツ施設情報システム運用マニュアル」等に基づいた適正な運用を行った。 ○チラシ・ポスター・ホームページの更新やSNSによる情報提供・パークライフ(年4回発行)・園内放送など様々な媒体を通して公園情報を誰もが平等に受け取れるよう発信した。情報の偏りや発信のタイミングに注視し、各媒体の発信日時の調整などを行い多くの方に分け隔てなく伝え、公平かつ平等に対応した。 ○様々な催しに対して、各主催者と綿密な打合せを行い、公平・平等な対応を行った。 ○管理事務所や植物園に常備する「車椅子」の無料貸し出しやサポートボランティアと協働した公園案内などを実施し、高齢者・障がい者の方々喜んでいただけるサービスを提供した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一貫したルール運用・案内を徹底することができた。 ○オーパスカードでの本人確認に努めることで、不正利用の防止に寄与することができた。 ○さまざまな手段を用いて情報発信を行うことで、より多くの方々にその時にあった情報を提供することができ、外部団体との共催イベントは、共催者と連携しホームページ、園内掲示板、地元自治会への掲示依頼を行い、利用促進につながった。 ○高齢者や障がい者をはじめ、誰もが平等に楽しんでいただけるサービスを提供し、適切に管理運営を実施した。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○法令に基づき、公平な来園者指導を行った。</p> <p>○オーパス利用者のに現地確認調査を実施し、不正防止に努めた。</p> <p>○チラシ・ポスター・ホームページの更新、SNSや「パークライフ」・園内放送などの各種媒体を通じて公園情報を誰もが公平かつ平等に受け取れるよう努めた。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できている。</p> <p>車椅子の無料貸し出し、オーパスの不正利用防止の取り組み、公園情報の発信や一貫したルールの徹底に努めていることなど事業計画の適切な実施は評価できる。</p> <p>引き続き、幅広い利用者層への情報発信などにより、平等利用の促進に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】 ○植物園で「みどり・文化・地域・健康」のプラットホーム化 ・「みどりのサロン」 豊中市や吹田市の展示イベントや講習会の場として、地元こども園や小学校、大学や自治会の自然体験活動の場など、第1スタジオをサロンとして11件(305名)に提供。 ・「みどりのライブラリー」 豊中市岡町図書館と共催し、春と秋の2回に植物園前広場にて移動図書館の設置。 ・「みどりのギャラリー」 第3スタジオにて服部緑地を含む花や野鳥等の写真展示場として5団体に貸出。 その他、企業等との連携したイベント開催など25件(733名)の連携事業を行った。 ○しよくぶつえんのガーデンセラピー23件、しよくぶつえんの育みプログラム11件を含む、企業と連携したイベントや食イベントなど47件(約6717名)を実施した。 ○植物園にて、9件の展示会の開催、13件の講習会の開催により約511名の参加があった。 ○「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」を5/22,8/24,11/27に開催した。 ○8/26ウォーターランドにて「夏風のヨガ」を実施、約20名参加。 ○9/16(株)夢番地と共催で「たとえぼくが踊ったら、#002」を野外音楽堂とスポーツ広場Aにて同時開催し、約3,000名が参加した。 ○ウォーターランドにて閑散期の有効活用として、11/20から「釣り事業」を実施。 ○陸上競技場では、サイト内に個人利用空き情報を掲載。 ○女子サッカーなでしこ2部リーグ等を誘致した。 ○テニスコートの平日の稼働率を上げるため、スクールのコマ数の拡充とイベント(練習会・団体戦)を開催。 ○テニスコートのグリーンサンド・クレーコートについて、利用頻度や利用者ニーズに応じた重点整備を実施した。 ○有料施設稼働率 (テニスコート) ・人工芝 67.2% ・クレー 54.9% ・グリーンサンド 36.2% ・人工芝サッカー場 69.4%</p> <p>【自己評価】 ○「服部緑地『みどり・文化・地域』を育てる協議会」の継続開催することで、共同PRや服部緑地を核にした豊中・吹田エリアの持続的な取組を実施し、活性化に貢献した。 ○園内各施設において、斬新もしくは、ユニークな催事の進行により、新たな利用者(層)を獲得につながった。 ○スクールのコマ数を拡充することによって、様々な層のプレイヤーが集うようになり、より活気があふれた。 ○テニスコートの重点整備の結果、不陸や水はけを改善でき、クレームも減少した。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○植物園で「みどり・文化・地域・健康」のプラットホーム化のために各種のイベントが多数開催され、利用者の利便性に大きく貢献した。</p> <p>○野外音楽堂とスポーツ広場Aにて同時開催されたイベントには約3000名の参加者があった。スポーツ施設においては、陸上競技場の個人利用空き情報をサイト内に掲載し利便性を向上させた。ウォーターランド閉鎖期における「釣り事業」を行ない、新たな利用者(層)獲得に努めた。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に定める内容を適切に実施できており、かつ、実施計画書の内容以上の成果をあげている。</p> <p>野外音楽堂とスポーツ広場で同時開催イベントや植物園で各種のイベントが多数開催され利用者の利便性に大きく貢献した点、陸上競技場の個人利用空き情報をサイト内に掲載し利便性を向上させた点、ウォーターランド閉鎖期における「釣り事業」の実施などの取り組みは高く評価できる。</p> <p>引き続き、魅力的なプログラムの開発など積極的な取り組みを期待する。</p>
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。) (※ Aグループのみ、Bグループも実績があれば記載可)</p>	<p>【実績】 ○バーベキュー広場「バーベックマルシェ」の営業において、手ぶらでバーベキューができる食材の販売、追加卓の貸出しを行った。 ○テニスをはじめのきっかけづくりやテニスを通じた健康増進を図る場を提供するため「テニススクール」を実施した。(10月よりテニスのすそ野を広げるためまた、健康増進を強化するため頻度を上げて利用促進事業として実施) ○レストハウス附属売店や西中央広場売店、プール場内外売店の営業を行った。 ○テニスセンター、ウォーターランドにコインロッカーを設置した。 【自己評価】 ○収益事業の実施に向けて各種事業者と調整し、計画的に実施し、利用者サービスの幅を広げ、園内の賑わいづくりに貢献した。 ○「テニススクール」の受講者のレベルに応じたプログラムの実施により受講者が180名を超え(10月末現在)、定期的な練習会の実施により受講者以外にも服部緑地のテニスコートが認知されることに繋がった。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○トラブルが発生した場合は適切・迅速な初期対応を行ない、「1-DAYレスポンス」を徹底した。</p> <p>○トラブルの処置内容を「苦情処理簿」に記録して従業員に周知徹底した。</p> <p>○台風の上陸が3回もあり被害が甚大であったが、土木事務所と協力して園路や車道を早期通行可能にした。 隣接住宅の対応等については、今後、より早く丁寧に行われることを期待したい。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>バーベックマルシェや各売店、コインロッカーにより利用者へのサービス向上を図った点は評価できる。</p> <p>台風の影響で実施できなかった取り組みの来年度以降の実施、充実化に努められるとともに、今後更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待する。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	<p>トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)</p>	<p>【実績】 ○トラブルが発生した場合は、直ちに現地に向かって確認を行い、苦情・相談についても真摯な態度での対応を心がけ、適切・迅速な初期対応を行った。また、対応方針をその日のうちに連絡する「1-DAYレスポンス」を徹底した。 ○台風21号通過後の住宅隣接地での問い合わせ、苦情について迅速な現地確認、事情説明を行い大阪府と協議の上対応を続けている。 ○トラブルの発生から解決に至るまで、処置内容を「苦情等処理簿」に記録し、朝礼・スタッフミーティング等で従業員に周知徹底した。</p> <p>【自己評価】 ○適正な初期対応や警備の強化により、トラブル・苦情の拡大抑止、被害の再発抑止を図ることができた。 ○台風21号の苦情に対し、苦情主に理解を得られる対応をすすめ、これに加えてトラブルの内容をスタッフ間で共有し、同様の事案を繰り返すことなく、管理の質の向上につながった。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○トラブルが発生した場合は適切・迅速な初期対応を行ない、「1-DAYレスポンス」を徹底した。</p> <p>○トラブルの処置内容を「苦情処理簿」に記録して従業員に周知徹底した。</p> <p>○台風の上陸が3回もあり被害が甚大であったが、土木事務所と協力して園路や車道を早期通行可能にした。 隣接住宅の対応等については、今後、より早く丁寧に行われることを期待したい。</p>	A	<p>「1-DAYレスポンス」の徹底、「苦情処理簿」の記録、巡視時の注意喚起、トラブル発生時の迅速かつ丁寧な初期対応の徹底などの取り組みは評価できる。 昨年度の台風などの災害に対する対応を今後のトラブルの未然防止に役立てることに期待したい。</p>
	<p>草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術についての確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)</p>	<p>【実績】 (草地管理) ○台風21号で甚大な被害を受け、大幅に工程修正をする中で、利用頻度の多い場所については、予定回数を早期に達成し、箇所によりそれ以上の回数を行った。 ※ 実績例 BBQ広場(計画7回→実績8回、集いの原っぱ(計画3回→実績4回)、梅林(計画5回→実績6回最終11/20)等。 (芝生管理) ○陸上競技場フィールド内にて、過年度、メリケントキンソウ対策として薬剤を散布していた箇所の芝生に、枯れが見られたため、4月末に芝のランナーの活性を上げるため高度化成肥料を散布した。 (樹木管理) ○梅林の剪定に於いて南北の中央を高くする剪定を実施した。 ○今期前半に製作した藤棚に冬期に通称「お化けフジ」を誘引する予定。 ○今期は近畿に台風の上陸が3回(台風12号、20号、21号)あり、被害が甚大であったが、来園者が通行する園路や車道に於いては、指定管理者、管轄土木事務所が協力しても含めて早期対応処理を実施し、早期に通行可能とすることが出来た。 ○台風の被害処理材の再利用で、人気の「チップの道(仮称 木漏れ日の道)」の表層を補充し、クッション製の維持と幅員の補修を実施した。</p> <p>【自己評価】 ○(草地管理) 前半8月までは順調にすすんでいた草地管理も台風21号上陸の影響で、大幅に工程変更を余儀なくされたものの、除草回数増により、快適で良好な利用環境を保つことができた。 ○(芝生管理) 6月には、陸上競技場フィールド内に、メリケントキンソウは無いことが確認でき、色の濃い高麗芝の新芽が伸びている良好な状態とすることができた。 ○(樹木管理) 梅林の中央の樹高を高くすることで、開花期にボリューム感のある花を楽しんでいただく場の提供を図った。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○草地管理は、利用頻度の多い場所については予定回数を早期に達成し、それ以上の回数を行った箇所もある。</p> <p>○園内に台風被害による樹木が多数残っているため、今後、可能な限り早期に処理されることを期待したい。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 草地管理は、利用頻度の多い場所について予定回数を早期に達成した点などが評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園内清掃は、標準週2回の定期清掃を実施した。また、花見時期やゴールデンウィークなど公園利用者が非常に多い時期には、清掃回数を増やし、ゴミの散乱防止、園内美化の維持に努めた。 ○繁忙期は夜にバーベキューを行う来園者も多数いることから、夕方にゴミステーションの清掃を行い、気持ちよく利用して頂けるよう心がけた。 ○踏むと滑って危険なタイワンフウ等の木の実が散乱する箇所を把握し、木の実が溜まる前に随時清掃した。 ○便所清掃は、週2回が標準となっている便所について、繁忙期週3回、その他の時期は週2回の定期清掃を実施、クモの巣やホコリの堆積に注意し清掃した。 ○夏期(7月~9月)には0-157対策の一環として便所消毒を実施した。 ○使用頻度の多く尿石の蓄積が多い便所から順に、尿石除去剤による重点清掃を行った。 ○清掃実施日、清掃実施担当者を記入するトイレチェックシートの作成、掲示を実施した(全23箇所)。 ○台風や大雨等の気象情報に留意し、台風や大雨の前に、流出した土砂や折れ枝の除去・排水溝の詰まりの清掃等の対策を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用状況に応じて標準以上の園内清掃、ゴミ回収、便所清掃を行うだけでなく、臨機応変に効率よく清掃を行ったため園内を常に美しく快適な状態を提供するとともに、美観を維持することにつながった。 ○木の実等による転倒事故などなく、安全に園内の散策が出来る状態を保つことが出来た。 ○通常の便所清掃に加え尿石除去の重点清掃を行うことにより見た目も良くなり悪臭を防いだ。また、全トイレのチェックシート掲示により、目の行き届いた管理ができた。 ○マナーの啓発や仮設のゴミ箱の設置により、ゴミ箱から溢れるゴミが格段に減少し、カラス等による被害が減少した。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○園内清掃は、標準週2回だが繁忙期には回数を増やしたり夜間バーベキュー利用者を考慮して夕方にゴミステーションの清掃を行った。</p> <p>○便所清掃は、標準週2回だが、繁忙期は週3回に増やし、クモの巣やホコリの堆積に注意して清掃した。 全23箇所にトイレチェックシートの作成、掲示を実施した。 引き続き努力してほしい。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。 利用状況に応じて清掃回数を増やしたり、夜間バーベキュー利用者を考慮して夕方にゴミステーションの清掃を行っていることは評価できる。 引き続き、適切な維持管理に努められたい。</p>
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スライダー着水部への追突防止マットを設置するとともに、混雑時には係員を配置した。 ○スライダー出発地点にミストを設置し、利用者の暑さの軽減に努めた。 ○流水プールの橋に人工芝マットを敷くことにより、暑さの軽減に努めた。 ○刺青対策では腕、足用のラッシュガードの貸出を行い、声掛けを徹底した。 ○チケット売場に大きな料金表を掲示し、視認性の向上に努めた。 ○子どもも買いやすいように券売機前に踏み台を設置した。 ○チケット購入の際に、案内員を配置し購入列の待ち時間の軽減を図った。 ○北大阪急行電鉄(株)と連携し、中吊り広告を掲示した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スライダー着水部に追突防止マットを設置して安心感を提供、無事故につながった。 ○スライダー着水部分に人員を配置して、安全を意識した素早い誘導を行うことで事故を未然に防いだ。 ○養生マット等の暑さの軽減対策や熱中症の注意喚起を行ったことで大きな問題なく適正な運営を推進した。 ○刺青対策では昨年度に引き続き、ラッシュガードの貸し出しを行い、腕や足の刺青を隠せるようになったことで対応件数は増加したが露出されている利用者は減少した。そのため、多くの利用者に安心してご利用いただけた。 ○大きな料金表を掲示したことで、チケットを購入しやすくなり、スムーズな利用にもつながり、混雑の解消を図ることができた。 ○北大阪急行電鉄と連携して広告掲示を行ない、プールの利用促進に繋げた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○スライダー着水部への追突防止マットを設置したり、人員を配置するなど無事故につながった。</p> <p>○養生マット等の暑さ軽減対策や熱中症の注意喚起により大きな問題もなく適正に運営を行った。</p> <p>○刺青対策にラッシュガード貸出や声掛けを徹底した。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営がなされている。 チケット売り場での案内員配置やラッシュガード貸出、スライダー着水部への追突防止マットの設置、養生マット等の暑さ軽減対策や熱中症の注意喚起など、利用者の安全・安心の確保に取り組んでいる点は評価できる。 引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
(4) 施設の維持管理の内容、適 格性及び実現の程度	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各競技団体や一般利用者のニーズに応え、大会やイベント時における利用時間について、午前9時から午後5時までの営業時間以外にも柔軟に対応した。 ○陸上競技場では、競技会前の事前チェックによる備品の修繕や電子機器関連等の配線の断線修理を実施し、安全・快適な利用環境の提供に努めた。 ○テニスコートのネット、フェンス等の修繕を迅速に行い、利用者の心地よい環境づくりに努めた。 ○テニスコートの転圧作業回数・時間を増加し、不陸の少ないより良いコートコンディションに努めた。 ○軟式野球場は日常管理・定期管理を適正に実施したほか場内のカイツカイブキの剪定や危険木の伐採を行った。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動施設が混在する公園で、公園利用者と運動施設利用者が大きなトラブルなく安全に利用できた。 ○陸上の各修繕を迅速・適正に行い、公認記録を取るための大会の開催に向け万全な体制を整えた。 ○テニスコートの、より良いコンディションづくりができ良く整備されているとお褒めの言葉をいただいた。 ○安全に心掛けた整備を行い快適な施設を提供することができた。 ○利用者により良い利用ができる環境を整え、利用機会の増大につながった。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者のニーズに応え、大会やイベント時における利用時間について営業時間以外にも柔軟に対応した。 ○テニスコートのネット、フェンス等の迅速な修繕や転圧作業回数・時間の増加などより良いコートコンディション作りに努めた。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>テニス施設のネット修繕やコート整備をはじめとする各種運動施設の修繕や整備などを適切に実施し、コンディション維持に努めたことや、利用者の多様なニーズに沿ったサービスの提供を行ったことは評価できる。引き続き、適切な維持管理と利用者の利便性向上に努められたい。</p>
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市緑化植物園では、新葉の美しいチャンチンの観賞を阻害しキクイムシの被害を受けているアラカンや、ツバキの生育に支障となるサカキなどの伐採を実施した。 ○都市緑化植物園では、台風21号の被害について、速やかに被害状況の調査を行い、土木事務所との役割分担の協議のうえ、約160本のうち約60本の被害木の伐採・剪定などの処理を行い早期開園に努めた。 ○円形花壇では、利用者に危害を及ぼすメリケントキンソウの駆逐と、芝生地景観の向上を目指し、芝刈頻度を標準年間10回のところ、14回に増やし管理した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伐採処理を行うことで、観賞価値の高い樹木までの見通しが確保され、新たな見どころを作ることができた。また周辺の日照環境も改善され、既存樹の生育空間の確保と新たな植物を導入する余地ができたため、今後これを活用したい。 ○台風被害木の立地や損傷状況、大きさなどから土木事務所との協議により、効率の良い作業分担を行い、約160本あった被害木を3週間で片づけ景観・安全確保を行い再開園する事ができた。 ○メリケントキンソウの適切な駆除により被害報告もなく、芝生地景観を良好な状態に保つことができた。しかしメリケントキンソウの根絶にまでは至らず、分布範囲が減っている様子はないため、今後の調査・検討材料にしたい。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市緑化植物園において、アラカンや、サカキなどの伐採を実施した。 また、台風21号の被害について速やかに状況調査を行ない、土木事務所と協議の上、約160本の被害木中約60本の伐採・剪定などの処理を行ない早期開園に努めた。 ○円形花壇のメリケントキンソウ駆除や芝刈頻度を年間10回から14回に増やし、景観向上に貢献した。 	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>台風21号の被害について速やかに状況調査し、土木事務所と協議の上、約160本の被害木中約60本の伐採・剪定などの処理を行って早期開園に努めた点、円形花壇のメリケントキンソウ駆除や芝刈頻度を年間10回から14回に増やし、景観向上に貢献した点などは評価できる。</p> <p>今後とも、良好な維持管理・運営管理により、更なる魅力づくりに期待したい。</p>
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。						

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>○4/15、「竹林管理体験会」をバンブークラブと協働で実施、26名が参加した。</p> <p>○わくわく探検隊の協力を得て、4/15「花の咲く木と草でしおりをつくろう」(5名参加)、8/19「鳴いているセミやチョウを探そう」(20名参加)、10/21「ドングリ拾い」(44名参加)を実施した。</p> <p>○服部緑地自然を楽しむ会の協力を得て、4/22「春の花を見よう～タンポポ調べとタンポポ遊び～」(34名参加)、7/21「セミの羽化を見よう」(79名参加)、10/21「どんぐり祭り」(40名参加)を実施した。</p> <p>○ボランティアのファミリー自然教室と一緒に、8/18「セミについて調べよう 昆虫を作ろう」(95名参加)10/27「木の実やドングリを探そう、ドングリ工作」(111名参加)を実施した。</p> <p>○ファミリーガーデニングクラブを開催し、5/20が70名、6/24が63名、7/15が57名参加した。</p> <p>○苗圃を利用して行う「食育」プログラム「集まれ！わんぱくファーマー！」(5月から10月予定)として、NPO法人梅田ミツバチプロジェクトと連携し、夏野菜やミツバチを題材に生態系を総合的に学べる学習会を実施した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○自然環境の体験に関するニーズに応え、身近な食物や昆虫に対する理解を深めるプログラムの準備を行うことができた。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案以上を実施。</p> <p>○各種団体と協働して「竹林管理体験会」、「鳴いているセミやチョウを探そう」、「ドングリ拾い」などのイベントを行ない自然環境の体験に関するニーズに応えた。</p> <p>○苗圃を利用して行う「食育」プログラムは生態系を総合的に学べる学習会として効果は大きかった。</p>	S	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされており、かつ、実施計画書の内容以上の成果をあげている。</p> <p>各種団体と協働して自然環境の体験に関するニーズに応えた点や、苗圃を利用して行う食育プログラムは予想を上回る集客となるなど自然環境学習の取り組みは高く評価できる。</p> <p>引き続き、更なる公園の活性化や利用者サービスの向上を図ることを期待したい。</p>
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	<p>【実績】</p> <p>○毎日2人一組2班体制(4人)で巡視業務を徹底した他、GW等の繁忙期は増員し体制を強化した。</p> <p>○植物管理実務経験35年以上の、植物を熟知する専門職員を常駐することで樹勢の状態や倒木の可能性のある危険木の早期発見・対処を行った。</p> <p>○遊具は日常点検、定期点検(月1回)、繁忙期前の臨時点検を実施、精密点検は専門技術員(公園施設製品安全管理士など)により年1回実施し、その結果をもとに修繕を行った。</p> <p>○月一回の門扉点検を行うと共に、ネジの緩みや錆による動作不良等を解消した。</p> <p>○毎月1回、園内の保安灯を重点的に点検し、ランプの交換を行うなど、夜間における来園者の安全確保に努めた。</p> <p>○苦情が増える夏季は、夜9時から翌朝5時にかけて巡視警備員による夜間巡回を行い、園内の秩序を維持した。</p> <p>○プール開催時期や繁忙期等、駐車場入口に交通整理の十分な人数の警備員を配置した。</p> <p>○台風21号により約2,000本の倒木及び幹折れ枝折れ等の被害が生じたため、危険箇所については早急に立入禁止にして安全確保を行った上、処理及び撤去作業を進めた。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○巡視体制と巡視内容の徹底を図り、利用者が安全安心に利用できる環境を確保することが出来た。</p> <p>○危険木の早期発見と速やかな処置により、倒木や落木等の事故を未然に防ぐことが出来た。</p> <p>○遊具、門扉及びハートフルゲートの不具合箇所やその他の危険箇所や異常箇所に対する適切な対応により事故の未然防止することが出来ている。</p> <p>○保安灯の重点点検とランプ交換や安定器の交換により、来園者の安全確保が出来た。</p> <p>○夜間巡視警備の実施により、花火による騒音やバイクの乗り入れ等の夜間の迷惑行為、危険行為の抑止ができた。</p> <p>○駐車場の入口に警備員を配置したため、混雑による事故を未然に防止することが出来た。</p> <p>○台風により園内に非常に大きな被害が出たが、早急かつ的確な措置により二次災害となる怪我人を一人も出さなかった。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○毎日2人一組2班体制(4人)での巡視体制の徹底、繁忙期は増員し強化した。</p> <p>○ベテランの植物を熟知した専門職員の常駐により、危険木の早期発見・対処を行った。</p> <p>○苦情が増える夏季は、巡視警備員による夜間巡回を行った。</p>	A	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理がなされている。</p> <p>巡視体制の強化、専門職員の常駐により、危険木の早期発見・対処、夏季における巡視警備員による夜間巡回の実施などにより利用者の安全確保に努めたことは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	<p>【実績】</p> <p>○6月18日発生の大阪府北部地震に際しては、当日が勤務日の職員に加え、指定休であった非常時体制要員も自動参集し、適切に被害状況の把握と立入禁止措置を行い、大阪府への報告を行った。</p> <p>○台風等の異常気象時においては、安全確保を行うため、非常時体制をとり、倒木や園路冠水など被害状況の把握と対策を行い、大阪府と連携し実施した。</p> <p>○陸上競技場をはじめ、集客施設において消防訓練を実施した。</p> <p>○停電時に防災設備を稼働させるための重要な機器である、発電機やチェーンソー、また人命救助の一助になるAEDの取り扱いなどの定期点検や経年劣化する部品の交換などのメンテナンスを欠かさず試験運転を行うなど災害に備えた。</p> <p>○朝礼時及び毎月の所内会議において、公園スタッフの危機意識の向上を図り、利用者の突然の事故などに対しても、迅速な処置が行えるよう努めた。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○9月4日に発生した台風21号の影響により、園内外で数多くの倒木があった。車両の通行がある外周園路でも倒木があったが、日ごろの訓練の成果もあり、速やかに倒木処理を行うことができ、交通渋滞を起こすことなく処理を完了することができた。</p> <p>また、園内においても速やかな公園閉鎖処置により負傷者を出すことなく処理ができた。</p> <p>○震災、風水害、火災やその他の災害に対し、訓練を着実に実施し、万が一に備えた知識や技術の習得、意識の向上を図ることにつながった。</p> <p>○災害対策用資材等の確保及び配分に係る体制など、非常時における各種機能確保も怠ることなく、多様な側面から危機管理体制を整えた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項が一部実施できていない。</p> <p>○大阪府北部地震に際しては指定休であった職員も自動参集し、適切な被害状況把握と対策を行った。</p> <p>○台風等の異常気象時において、安全確保のための非常時体制はとられたが、早期復旧に向けて、倒木や施設損傷などの被害状況を早急に把握し、復旧計画を大阪府と協議して進めるべきところ、大阪府への被害報告が大幅に遅れた。この点については、大阪府との連携が不十分であったと言える。</p> <p>○朝礼時及び毎月の所内会議等で日々の危機管理意識の向上に加え、公園日誌での情報共有等がさらに望まれる。</p>	B	<p>事業実施計画書・公園管理要領等に沿った適正な管理運営が概ねなされている。</p> <p>大阪府北部地震に際しては適切な被害状況把握と対策を行ったと評価できるが、台風等の異常気象時において、報告が遅延するなど、一部、大阪府との連携に問題が見られた。今後はその反省を踏まえた危機管理体制の充実に努められたい。</p>
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <p>○樹木がより美しくなるよう、景観を損ない危険を伴う枯枝落としを作業の合間に季節を問わず行った。また、来園者が行き交う主要な園路やスポーツ施設の近辺、要望のあった場所など見通しが良くなるよう順次剪定を行った。</p> <p>○便所清掃の項目において、昨年度も評価が低かったことから、全ての便所に優先順位をつけて尿石除去を行う等、重点清掃を行っている他、従業員が定期的に各トイレの清掃確認を行いその結果を基に清掃委託業者と毎月のミーティングを行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○樹木管理に関して、来園者の安全な利用と日差しのもとでの安全な利用場所を提供することができた。</p> <p>○便所清掃に関しては、順次重点清掃には既に取りかかっていたが、アンケートを行う時期までに実行した便所が少なく、アンケート結果に反映することが出来なかった。次年のアンケートでは満足度の向上が得られるよう取り組んでいる。</p> <p>○ホームページ・イベント案内に関しては、パークライフのデザインを一新し、文字を少なく写真や絵等を多くしたため、お子さんでも読みやすく非常にわかりやすい内容になり、満足度の向上につながった。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○サクラの杜の整備計画に向けて、豊中南ロータリークラブより記念植樹される桜11本の候補地を選定した。</p> <p>○服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進協議会に参画し、「天竺のはらっぱ」の利活用に協力した。</p> <p>○行政の福祉化の取り組みとして、3名の知的障がい者の方を雇用するほか、専属の指導スタッフを配置した。</p>	A	<p>服部緑地・天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進協議会に参画し、「天竺のはらっぱ」の利活用に協力した点、行政の福祉化の取り組みとして、3名の知的障がい者の方を雇用するほか、専属の指導スタッフを配置した点などは評価できる。</p> <p>引き続き、適切な維持管理・運営管理に努められたい。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <p>○利用者アンケート結果では、公園の満足度は「全体的な満足度」が1.4点であった。 ○植物管理の面においては「樹木は美しく手入れ出来ていますか」「草刈りはきれいに出来ていますか」「花壇はきれいに手入れできていますか」では、85%以上の方が「満足」又は「やや満足」との回答されている。 ○施設管理の面においては、「ゴミは少ないですか。掃除は行き届いていますか。」の項目では90%以上の方が「満足」又は「やや満足」との回答されている。一方で、「便所は気持ちよく利用できますか。掃除は十分ですか。」の項目では「満足」又は「やや満足」との回答されている方が64.7%と低い満足度となっている。 ○サービスの面においては、「職員の対応は丁寧ですか」の項目では85%以上の方が「満足」又は「やや満足」との回答されている。一方で、「売店などサービス施設は十分ですか。」の項目では「満足」又は「やや満足」との回答されている方が55%となっている。 ○「イベントの種類や数は十分ですか」や「ホームページやイベントの案内は充実していますか」の項目では、「満足」又は「やや満足」との回答されている方がそれぞれ63.2%、56.1%となっている。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○公園の全体的な満足度においては利用者が高い評価を得ることができたと考えており、悪い評価を得た部分においては改善し、良い評価を得た部分に関しても更なる向上を目指して取り組んで行く。 ○植物管理の面においては全ての項目で高い評価をいただくことが出来たが、現状に満足せず更なる工夫を提案・実行し、利用者から愛される公園管理を行えるよう努めていく。 ○施設管理の面では、園路や園地の清掃に関しては高い評価を得ているものの、便所清掃では非常に評価が低いことから、夏場には回数を増やして清掃を行い、尿石除去等を行う重点清掃や、微生物の力を利用し汚れにくくするパイオ資材等により改善し、満足度の向上につながるよう取り組む。 ○現在の管理水準を継続し、高いサービスを提供できるよう心がけ、従業員間でさらに意識の啓発を図るとともにさまざまな来園者の声にアンテナを向け、今後の管理に取り込んでいくこととしたい。</p>	A	<p>○アンケート結果では「全体的な満足度」が1.4点だった。</p> <p>○植物管理面においても8割以上の方が「やや満足」以上と回答した。</p> <p>○施設管理面においては、ゴミの少なさや掃除の行き届きに比較して便所に関する満足度が低い。</p> <p>○サービス面においては職員の対応に比較して売店などサービス施設の満足度が低い。</p> <p>○イベントの種類や数、ホームページやイベント案内の充実度に関して、過半数の人が「やや満足」以上と回答している。</p>	A	総合的な満足度は良好であり、適切な維持管理が行われている。便所清掃、売店等の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <p>○樹木がより美しくなるよう、景観を損ない危険を伴う枯枝落としを作業の合間に季節を問わず行った。また、来園者が行き交う主要な園路やスポーツ施設の近辺、要望のあった場所など見通しが良くなるよう順次剪定を行った。 ○便所清掃の項目において、昨年度も評価が低かったことから、全ての便所に優先順位をつけて尿石除去を行う等、重点清掃を行っている他、従業員が定期的に各トイレの清掃確認を行いその結果を基に清掃委託業者と毎月のミーティングを行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○樹木管理に関して、来園者の安全な利用と日差しのもとでの安全な利用場所を提供することができた。 ○便所清掃に関しては、順次重点清掃には既に取りかかっていたが、アンケートを行う時期までに実行した便所が少なく、アンケート結果に反映することが出来なかった。次年のアンケートでは満足度の向上が得られるよう取り組んでいる。 ○ホームページ・イベント案内に関しては、パークライフのデザインを一新し、文字を少なく写真や絵等を多くしたため、お子さんでも読みやすく非常にわかりやすい内容になり、満足度の向上につながった。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○樹木がより美しくなり見通しがよくなるよう枯れ枝落としや剪定を作業の合間を見て季節を通して行った。</p> <p>○便所清掃の項目が昨年度も評価が低かったので全ての便所に優先順位をつけて重点清掃を行ない、清掃委託業者とも毎月ミーティングを行った。</p>	A	前年度に低い評価を受けたトイレ清掃などの事項に対し改善に取り組むなど、適切な対応がなされていると評価できる。公園利用者の更なる満足度向上に向け、引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>○樹林が多くスズメバチが多数生息・飛来することから、昨年に引き続き、女王蜂が活動を始める春先に100個の捕獲用トラップを設置、4月18日、5月15日、6月28日に回収・取替えを行った。オオスズメバチは昨年327匹を捕獲したことに対し、本年206匹と減少。</p> <p>○11/15大阪府池田土木事務所、FC大阪と「大阪府営服部緑地陸上競技場における高度な芝生の維持管理に関する協定書」を締結した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○オオスズメバチの捕獲数は昨年327匹に対し、本年206匹と減少、園内での発見件数も年々減少していることから総数の減少に効果があったと考える。来園者に安全な利用環境を提供することにつなげることができた。</p>	S	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○オオスズメバチ対策は捕獲用トラップの設置により、園内で見かける総数が減少しており一定の効果がみられる。</p> <p>○FC大阪の陸上競技場の芝生管理に関する協定書の締結もあったが、さらなる取り組みに期待する。</p>	A	オオスズメバチ対策に取り組み一定の効果がみられる点は評価できる。引き続き適切な維持管理・運営管理に努められたい。
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <p>○支出計画に沿った予算管理を執行し、支出超過等になることなく、概ね計画通りの執行に努めている。</p> <p>○老朽化等による施設に係る修繕においては、土木事務所と協議、調整を行い、役割分担の明確化を図った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○経費削減に努めると共に、管理業務や利用者サービスの質を落とすことなく、良好な施設の提供やサービス向上、また、計画的な修繕を行い施設等の保全に努めることができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○求められる管理水準を維持しながら、計画的な予算執行に努めている。</p>	A	ほぼ計画的な予算執行である。引き続き、適切な収支バランスの維持に努められたい。
	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】</p> <p>○管理体制計画に則った管理体制を構築した。</p> <p>○「常時配置すべき職員の最低限のポスト数」及び応募時の提案以上の管理体制を整えた。</p> <p>○巡視業務においては、2名1班の2班体制を毎日実施し、来園者からの問い合わせ、不良箇所等の早期発見、危険物の放置処理などの業務を実施し、また、GWや繁忙期においては増員を行い、公園利用者の安全が確保され、安心して利用できるよう努めた。</p> <p>○夏期の夜間巡回においては、豊中警察の協力依頼を行うと共に、警備員を2名1組で、主要となる園内全域の巡回を行い、違法行為等の利用指導を行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○最低限のポスト数以上の配置を行うことで、突発的な事項にも臨機に対応できる万全の管理体制を執ることができた。</p> <p>○繁忙期や大規模イベント開催時には、人員の増員や警備員の配置を行うことにより、園内や周辺道路でのトラブルや事故の未然防止を図ることができた。</p> <p>○災害時に備え非常時体制を構築、利用者の安全確保はもちろんのこと、自ら速やかに必要な行動が行える体制を構築することができた。</p>	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○「常時配置すべき職員の最低限のポスト数」を提案以上の管理体制に廃止し、適切に職員配置している。</p>	A	—

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【服部緑地】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
(2) 安定的な運営が可能となる 人的能力	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一級(二級)造園施工管理技士7名を配置した。 ○一級(二級)造園技能士3名、公園管理運営士4名、樹木医1名、危険物取扱者乙種4類5名の技術者(有資格者)を配置した。 ○防火管理者を配置した。 ○保持すべき資格、保持することが望ましい資格を含め、求められる人員数を大幅に上回る技術者を配置した。 ○一級ボイラー技士及び電気主任技術者は、業務委託先事業者にて確保、配置した。 ○その他、安全基準法に基づく特別教育による資格について、小型車両系建設機械、高所作業車、チェーンソー、刈り払い機の有資格者を配置した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○応募時の提案を上回る有資格者を配置、厚みのある管理体制が可能となり、急きょ人員の交代があっても支障なく予定どおり業務を遂行するなど、豊富な技術力を活かした公園管理を行うことができた。 ○特別教育の資格取得者を充分配置し、安全に配慮した的確な知識と技術をもって管理作業を行うことができた。 ○電気、水道、土木、建築等の技術・技能を有する現場経験豊富なスタッフを適材適所に配置、効果的かつ効率的な管理を行うことができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○必置技術者は適正に配置されている。</p>	A	—
	労働災害等未然防止のための管理運営。 (外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝礼時及び毎月の所内会議において、安全意識の向上を図った。 ○KYTシートを使った安全ミーティングを5月23日に実施した。 ○6月20日に電気カンナを含む電動工具の使用方の講習会を実施した。 ○屋外で作業する従業員に対し、安全靴、ヘルメットを貸与し作業をする際には必ず着用した。 ○作業で使用する機材、道具類について作業前の点検を徹底した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員が災害防止の活動に取り組み、危険に対する認識、安全意識の向上につながった。 ○労災事故及び来園者事故を未然に防ぐことができた。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○維持管理作業に起因した労働災害、公衆災害(人身)、公衆災害(物損)の発生はなかった。</p> <p>○日々の安全教育について実施されていた。</p>	A	昨年度の労働災害を活かし管理上の問題は発生しておらず、今後も労働災害等を発生させることなく管理運営に努められたい。
	(3) 安定的な運営が可能となる 財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営状況に特に問題なし。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理業務の継続に影響はなく予定通りである。 	A	<p>当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する。</p> <p>○構成団体の経営状況に問題はない。</p>	A